

# ニセコ町

# 「自治創生」の実現に向けて

日本では人口減少が全国的に進んでおり、将来、地域住民の生活、地域経済、地方行政に大きな影響を与えることが懸念されています。こうした動向を受けて、最近よくニュースや新聞記事などで、「地方創生」という言葉を聞いたり、見かけたりするようになりました。

「地方創生」とは一体何でしょうか。その疑問への答えと、ニセコ町がこの「地方創生」を「自治創生」と言い換え、その実現に向けてどのように取り組んでいくのかを特集します。

今回は、好奇心旺盛なニコまるとニセコ町のアイドルキラりんが、「地方創生」について物知りのニッキーにいろいろ質問しています。



	ニコまる	} ニセコ町商工会のキャラクター
	キラりん	
	ニッキー	..... ニセコ町のシンボルキャラクター

## 地方創生の背景・経緯

よくニュースで「地方創生」って言うてるけど、何のことなの？ ニッキー教えて！

ニコまるは、ニュースもチェックしているんだね。えらいねえ。「地方創生」を説明する前に、日本の人口は今どうなっていて、これからどのようになっていくと思っ？ そのことが分かると「地方創生」が分かるよ。

人口は少なくなるんじゃないかな。お父さんやお母さんには兄弟姉妹が何人もいるけど、自分の友達や兄弟姉妹が少なく、一人っ子も結構いるよ。子どもが減っているんじゃないかな。

学校の生徒数も、昔よりずいぶん少なくなっているみたい。

そのとおり。今、日本の人口は減少しているんだ。このままの状況が続くと、日本の人口は、2060年に8674万人まで減少すると推計されているんだ。

2013年は1億2730万人だから、約50年で4056万人(32%)も減ってしまうことになるんだよ。

でも、ニセコ町は人口が増えているわよ。移住してきた人がまわりにたくさんいて、ピンと来ないんだけど…

日本全体で人口が減っているということとは、ニセコ町に移住してくる人も

これからどんどん減ってしまうことになるよ。ニセコ町も、

将来は人口が減っていくと推計されているんだよ。今の人口は約5000人だけど、2040年は4

300人ぐらいと推計されている。ちょっと意外かも知れないけど、それが現実なんだ。

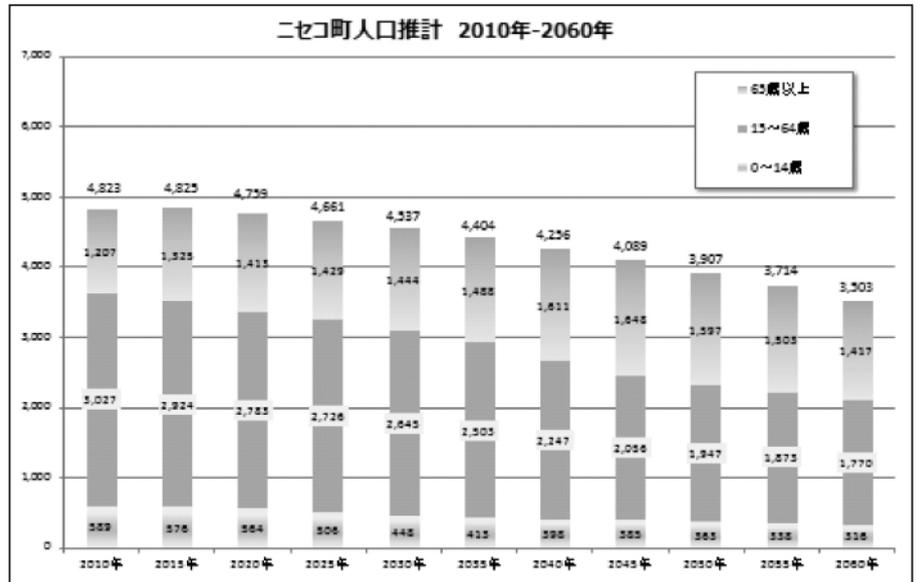
人口が減るとどうなるの？ どういう問題が起るんだろう？

いいところに気が付いたね。人口が減ることによる一番の問題は、働

き手の世代が減っていくことだよ。そうすると、地域の経済力がなくなり税収が少なくなるから、年金、医療保険、介護保険などが立ち行かなくなるおそれがある。高齢化も進んでいくので、若者への負担が増大せざるを得なくなるんだ。ニコまるにはちょっと難しかったかな。キラりんは理解してくれると思うけど…

私たち若者が大変な時代を迎えることになるのね。

ニセコ町人口推計 2010年-2060年



H25.3 国立社会保障・人口問題研究所調べ

ボクが大人になったときは、もっと大変なんでしょう。

大変なのは個人だけでなく、まちも衰退していく。税収が少なくなると、道路や水道などのインフラは、整備が進まないどころか、日常の管理や補修さえ十分に出来なくなってしまうかも知れないんだよ。もし道路が壊れてそのままにされていたら、今までの生活が成り立たなくなってしまうよ。

そうならないように、人口を増やす手立てをしないとイケないのね。でも、そう簡単に人口は増えないと思うわ。地方の人口が減っているのは、東京

のような都市圏に人口が集まっているからだよ。

そのとおり。でも、東京のような都市圏は、若者の結婚・出産・子育てが大変な環境で、出生率が低いんだ。地方に人口が増えないと、日本全体の人口が減ってしま



う。だから、東京のような都市圏に集まりすぎた人口を地方に戻す流れを作って、出生率も上げることが必要なんだ。確かに簡単なことではないけれど、地方に人口を増やしていく方法をみんな考えて、人口減少にストップをかけよう。

「地方創生」って、人口減少社会の克服を目指すことなのね。そのためには、地方が元気になるといけないね。少し分かってきたような気がするわ。

人口減少社会の克服は、人口を増やすだけでなく、少ない人口でも豊かで魅力あるまちづくりを進めていくことも大事なんだ。そのためには、これまでの働き方やライフスタイルなどを見直し、新しいまちづくりの考え方や発想を柔軟に取り入れていくことも求められているんじゃないかな。

## 地方創生と自治創生

ところで、ニセコ町では「自治創生」って言っているけど、「地方創生」と何が違うの？

ほう、キラりんは「自治創生」という言葉も知っているんだね。ニセコ町は、国の「地方創生」以前から、「まちづくり基本条例」に基づいて、町民一人ひとりが、自ら考え、行動することによる「自治」を基本としたまちづくりを進めてきた。その意味をこめて、「自治創生」と呼んでいるんだ。

ちよっとボクには説明が難しかったけど、結局、「自治創生」も「地方創生」も同じって考えてもいいの？

基本的には同じと考えるのも大丈夫だよ。今回の「地方創生」は、客観的なデータや数値目標などの要素がこれまで以上に重要視されているところが、今までと違うんだけど、ニセコ町では、これらの要素を含めて「自治創生」と呼んでいるんだよ。

## 国、自治体、住民の役割

「地方創生」のことは分かったけど、結局、ボクたちは何をしたらいいのか？

まずは、町民一人ひとりが、人口減少の影響が町全体に広く及ぶことに気づいて、自分たちの問題と認識することが大事なんだ。そして、町民が総力戦で知恵を出し合い、地域の魅力を最大限に発揮することが、人口減少社会の克服につながっていく。

役場はどのよう頑張っているの？

役場は、まちづくりの原点に立ち返り、町民の意見を丁寧に聞いて、その意見を反映させていくんだ。そうしないと町民からのいい



提案も見逃してしまつ。役場を通して町民がつながること。つまり町民同士の連携が大切なんだ。そして町民の意見がたくさん出る中で、町全体の方向性を考えるんだ。どう進めるかは、役場の腕の見せどころじゃないかな。国はどんなふうに、応援しているのかな？

自分たちの手で人口減少社会を克服しようとする姿勢が大事だよ。自分たちのかけがえない地域のことなんだから、誰かに助けてもらうのではなく、まずは自分たちがしっかり考えないといけない。もしかして、一生懸命頑張る地域なら、国も応援しているがあるかもしれないけど。

ちよっと、難しい話になってきているね。将来のことを考えると不安になってきたよ。

ニセコ町は環境や観光、農業など魅力がたくさんあって、実は「自治創生」の取り組みは全国から注目されているんだ。ちよっとプレッシャーだけど、ニセコも、ニセコのまちに何が必要か考えるよ。でも、ニセコ町の将来のことだから、君たちのような子どもが積極的に関わっていくべき問題なんだ。

私たちの思いも伝えて、ニセコ町の「自治創生」を進めよう！



# ニセコ町 自治創生の取組

ニセコ町では、町民の皆さまのご協力をいただきながら、「自治創生」に向けて次のように取り組めます。

## 【これまでの取組状況】

### ニセコ町自治創生推進本部

町長を本部長とする役場内の組織です。定例会議の場や職員のプロジェクチームの活動などを通して、自治創生に対する役場としての考え方を議論しています。

### まちづくり町民講座

平成27年6月30日に、まちづくり町民講座「ニセコ町の自治創生の取組～人口減少社会の克服に向けたアプローチ～」を開催し、約60名の参加をいただきました。

### 地方創生人材支援制度の活用

国の支援制度により国家公務員の派遣を受け入れ、自治創生の推進体制の強化を図っています。



## 【これからの取組】

### 町民の皆さまのご意見の収集・反映

町民の皆さまに、自治創生の取り組みに対するお考えを伺います。アンケート、パブリックコメント、意見交換会、参加型ワークショップなどを計画しておりますので、積極的なご協力をお願いいたします。また、ニセコ町議会議員の意見も、積極的に収集・反映します。

## ニセコ町の検討体制

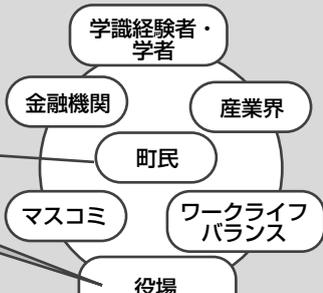
### 町民意見の収集・反映

- ニセコ町自治創生協議会への町民委員（公募）の参画
- まちづくり町民講座、アンケート・ヒアリング等の機会を積極的に設ける
- ニセコ町議会の議論もいただく予定

### ニセコ町自治創生推進本部 (役場の方針の検討・調整)

本部長：町長、副本部長：副町長  
本部員：管理職等、PT：全職員

### ニセコ町自治創生協議会 (町民と産官学労言の「総力戦」の場)



### ニセコ町自治創生協議会

町民の皆さまを含めた町の関係者から構成される「ニセコ町自治創生協議会」設置による検討を行います。「ニセコ町人口ビジョン」「ニセコ町総合戦略」の策定  
平成28年3月までに、「ニセコ町人口ビジョン」および「ニセコ町総合戦略」を策定します。

町民のみなさんから、自治創生に関するご質問やご意見・ご提案を随時お伺いしております。下記のお問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。



問合せ／自治創生室 自治創生係

☎0136-44-2121 担当＝中田・金井

## ニセコ町の自治創生の取組

## 人口減少社会の克服に向けたアプローチ

「地方創生」が  
目指すもの

○地方の若者が、出生率が低い都市圏（特に東京）へ流れてしまう「人口一極集中」により、日本の人口減少が進んでいます。「地方創生」は、人口減少問題の克服を

目指しているオールジャパンの取り組みです。

○「地方創生」は、従来の政策の検証結果を踏まえ、人口減少問題の克服を確実に実施することを目指しています。

○ニセコ町は、自らの魅力や強み・弱みを客観的にとらえて、雇用の創出、移住・定住支援、結婚・出産・子育て支援、まちづくりなどに戦略的に取り組むため、「ニセコ町人口ビジョン」及び「ニセコ町総合戦略」を平成27年度内に策定します。

## 「ニセコ町人口ビジョン」

・人口の現状分析を行い、人口の変化が地域の将来に与える影響について、客観的データなどに基づいて分析

・考察を行うアプローチを行います。

・検討を介して、地域の関係



者が危機感と当事者意識を共有します。

## 「ニセコ町総合戦略」

・「ニセコ町人口ビジョン」で見出した将来影響に対応した取組に重点化するアプローチを行います。

・雇用の創出、移住・定住支援、結婚・出産・子育て支援などのうちどれがボトルネックかは地域によって異なるため、地域の関係者の総力戦で、客観的データ等に基づいて地域の強み・弱みを深掘りすることが不可欠です。

「自治創生」の  
課題と方向性

○ニセコ町は、「ニセコ町まちづくり基本条例」に基づき、「住むことが誇りに思えるまち」を目指し、町民の「自治」を基本としたまちづくりを実践してきました。基本条例に基づくまちづくりに、国の「地方創生」の特徴的なアプローチ（客観的データ、数値目標、フォロワーアップなど）を加味した取り組みを「自治創生」と呼んでいます。

○ニセコ町は、人口50000人規模の町村では珍しく、人口が微増傾向にあります。が、中長期的には人口減少に転じていく将来展望が見込まれます。

○町民の意見の収集・反映については、特に積極的かつ丁寧に進めていきます。また「ニセコ町自治創生協議会」などにより今後、町民をはじめとした関係者との議論を本格的にスタートさせます。



ニセコ町では、人口減少社会を克服するための総合戦略を検討する「自治創生」に取り組んでいます。

6月30日、町民センターにおいて第144回まちづくり町民講座を開催し、私たちニセコ町が人口減少社会を克服し、将来にわたって豊かで魅力あるまちを造るための課題や取り組みについて町民のみなさんと一緒に考えましたので、その主な内容をお知らせします。

## 会場からの意見・質問

- (質) 今回の町民講座に多くの人に参加しているが、役場職員と一般町民の比率はどのようになっているか。
- (コ) 役場職員29人、一般町民28人(うち町外5人)の合計57人にも上る多くの方にお越しいただいている。
- (質) ニセコは外国人観光客で賑わっているエリア。「地方創生」は、国内の取り組みに限定した議論をするものなのか。
- (コ) 国内に限定しておらず、例えば、外国人観光客を支える観光業のあり方、というような議論は考えられる。
- (意) ニセコにはスポーツ関連産業(スポーツ合宿の受け入れなど)のポテンシャルがあるのではないかと。このようなビジネスチャンスにつながるキーワードが欲しいという移住希望者はいるはずであり、町の情報発信にも工夫の余地がある。
- (意) 町内での雇用は、通年雇用でなくポイント(短期)での働き手が求められている。ユースホステルがあれば、若者の働き手を柔軟に確保できるし、ユースホステルの雇用創出にもつながるのではないかと。
- (コ) 若者の交流人口の増加にもつながるところは、地方創生が目指している趣旨にも沿っている。
- (意) 宿泊というスタイルにこだわらず、空いているホテルを転々として、旅をしながらアルバイトをする若者がいる。
- (コ) 若者のニーズは多種多様と考えられ、まずニーズを的確に把握することが重要。
- (意・質) 「環境モデル都市」であることはニセコ町の特徴。総合計画の基本理念も「環境創造都市ニセコ」。環境はニセコ町の自治創生でもポイントになるのではないかと。学生時代に東京に住み、ニセコ町に戻って来たとき、ニセコ町の景観の素晴らしさを改めて実感した。他の移住者にもニセコ町の印象を教えてください。
- (意) 生まれは東京で、今はニセコ町に住んでいる。き



っかけは自然の豊かさ(雪)である。実際生活してみると、雪は結構大変であるが、環境や子育てなどを総合的に考えると、東京より住みやすい。

- (意) 移住者だけに注目するのではなく、ニセコ町で生まれ育った子どもたちの支援についても考えるべきではないか。
- (コ) 資料説明を分かりやすくするため、移住者の例を挙げただけで、ニセコ町の検討の方向性が移住者にシフトしている(向いている)わけではない。
- (意) 教育について、ニセコ町ならではの幼小中高一貫の仕組みを作ろうとしている。今の子どもには、ニセコの魅力・素晴らしさを味わってもらいたい。移住者が増加しているが、ニセコ町生まれの子どもたちも大事にしていきたい。
- (意) 仕事については、観光業に限らず、今、ニセコ町にない仕事も含めて、柔軟な発想で考えるべき。
- (意) ニセコ町の環境に惹かれて移住した。ニセコ町に住みたいという友人がいるが、通年雇用がなくて困っている。企業や金融機関などが結びついて、雇用の拡大につながるような仕組みを作ってはどうか。
- (意) 働き手が選り好みしなければ、雇用自体は結構ある。人手不足に困っている農家も多く見られる。農業の現場はいくらでもあるので、雇用をどうつないでいくかが課題。子どもたちに農業体験させ教育に生かすのも面白い。
- (意) 地域の自立を目指すことこそが地方創生の特徴と考える。移住については、実際に住んでみると暮らしにくい面も見えてくる。地方創生は、まさにこれからについて議論する良い機会ではないか。
- (コ) 「ニセコ町人口ビジョン」および「ニセコ町総合戦略」の検討に当たっては、町民をはじめ町議会議員の意見も聴取・反映させていく。
- (意)…意見 (質)…質問 (コ)…コメント